

飲酒運転撲滅宣言企業 篠栗観光バス有限公司



○ 篠栗観光バス有限公司 様の紹介

『仕事楽しく・遊び楽しく・出会い楽しく』

お遍路参りの町として知られる篠栗町で平成8年に創業して以来、地域に密着したバス会社として安全運行に努めてきた企業です。

現在は、特別支援学校の生徒さんたちを毎日安全にお送りする通学バスや、各地への観光バスの運行、そして地元篠栗ならではの「篠栗八十八ヶ所お遍路参りの旅」のご案内など巡礼の旅を得意としています。

「仕事楽しく、遊び楽しく、出会い楽しく」を変わらぬモットーとし、お客様には旅先での出会いや体験を心から楽しんでいただき、ハンドルを握る従業員自身も仕事を通じて皆様の思い出作りをお手伝いできることを楽しむ。そんな温かい繋がりを大切にしています。

これからも地域の交通安全に貢献し、皆様から「安心して任せられる」と思っていただけのバス会社であり続けられるよう、従業員一同、より一層精進してまいります。



HPIはこちら



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組

① <<飲酒運転撲滅推進計画の策定>>

・飲酒運転撲滅推進計画を策定し、飲酒運転撲滅に向けた取組を推進しています。

② <<飲酒運転撲滅のための管理体制の整備>>

- ・「乗務員安全服務規程」において、飲酒により安全な運転ができない場合は報告すること、また、飲酒運転を禁止することについて規定しています。
- ・飲酒運転防止に特化した「飲酒運転防止社内規定」において、飲酒運転防止対策に関することや違反した場合の処分の他、外部に対する取組の発信等について規定しています。

③ <<従業員等への広報啓発活動>>

- ・「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」という基本ルールを徹底しています。
- ・飲み会については、帰宅手段を決めてから行くこと、また早めに切り上げることを啓発しています。
- ・アルコールの影響に関する正しい知識（分解時間、個人差など）を周知しています。
- ・社内において、啓発ポスターやのぼり旗を掲示しています。
- ・運転者にアルコールを絶対に飲ませない、勧めない、また自分自身が一緒に乗車しないという、いわゆる飲酒運転の補助を絶対にしないことについて啓発しています。

独自の啓発物を作成し掲示！



のぼり旗やチラシで啓発！

④ <<従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組>>

- ・出退勤時や休息後には車両使用前後のアルコールチェック実施を義務化しており、実施に当たっては不正行為を防止する為、複数人での確認をするようにしています。また、記録の保管・管理をしています。
- ・出勤日の朝食や昼食で粕漬けや洋菓子等のアルコールを含む食物を摂ることや、マウスウォッシュを使用することを禁止しています。
- ・会社としてドライバーの間食を買う際は、原材料を必ず確認しています。

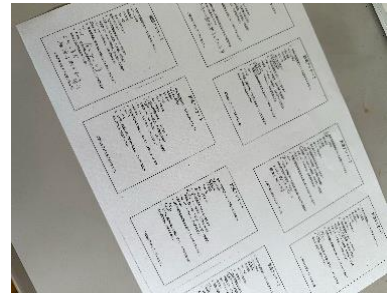


⑤ 《従業員等への社内研修等の実施》

- ・ミーティングにおいて、飲酒運転による事故の危険性・悲惨さや、法的責任、社会的責任、社内での厳格な処分の話を毎回必ず行っています。
- ・飲酒運転の報道があった際は、家族や会社への影響について話をしています。

⑥ 《その他の取組》

- ・従業員が飲酒運転に関する情報を提供できる窓口を設けており、同僚の飲酒運転が疑われる場合などに匿名での情報提供も可能にするなど、通報しやすい環境づくりを進めています。
- ・従業員の飲酒運転に対する意識や実態を把握するため、定期的に意識調査を行い、対策の効果測定や改善に役立てています。
- ・バス車内に啓発資料の掲示を行い、運転者だけでなく乗客に対しても安全意識の向上を図っています。



定期的な意識調査を実施！

○ 篠栗観光バス有限会社様にインタビューに 答えていただきました！！

Q 1 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 私たちが事業を行うこの福岡県では、過去に飲酒運転が原因の悲惨な事故によって、尊い命が奪われた歴史があります。日々、お客様など、かけがえのない命をお預かりする私たちにとって、これは決して他人事ではありません。「あの悲劇を二度と起こさせてはならない」という地域社会の一員としての強い使命感が、私たちの取り組みの原点です。

創業当初から「安全の確保は何よりも優先する」という信念のもと、飲酒運転撲滅への取り組みを徹底してまいりました。

Q 2 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 飲酒運転撲滅は創業以来の責務ですが、継続的な取り組みは、プロドライバーとしての自覚をさらに深めるきっかけとなりました。以前は「飲んだら乗らない」という基本的な認識でしたが、今はそれに加え、「前日の深酒が翌朝の運転にどう影響するか」「アルコールを含む可能性のある食品は何か」といった、より具体的で専門的なリスクまで考え、自らを律することが当たり前になっています。

「自分は大丈夫」という過信を捨て、常に自身のコンディションに真摯に向き合う。その意識の変化こそが、取り組みを続けてきた成果だと考えております。

Q 3 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A この度は、このような栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。日頃より弊社のバスをご利用いただいている皆様、そして地域の皆様の温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

私たちがバスにお乗せしているのは、未来ある子どもたちや、旅を楽しまれるお客様の、かけがえのない命です。飲酒運転の撲滅は、私たち運送事業者だけの努力では成し遂げられません。県民の皆様一人おひとりが「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」という強い意志を共有することが、安全な社会への何よりの近道だと信じています。

今回の受賞を励みに、私たちはこれからも安全運行を徹底することをお約束します。福岡県から悲しい事故がなくなる日を目指して、皆様と一緒に歩んでいければ幸いです。